

提案者	徳島県、美馬市、徳島大学、徳島文理大学、(株)エヌ・ティ・ティ・データ四国
実施地域	徳島県、美馬市
事業概要	徳島県がこれまで構築してきた「災害時の情報共有基盤」をベースに、産学官が連携し「SNS等のビッグデータや雨量・水位情報を効率的に収集・分析し、その結果をGIS上で可視化」するシステムを構築し、徳島県の美馬市を「モデル地区」として実証実験を行う。

実施主体: 徳島県(美馬市, 徳島大学, 徳島文理大学, NTTデータ)

全国屈指のブロードバンド環境を活用!

総合地図提供システム

災害時情報共有システム



事業④
①～③により集約された各種情報を更にGIS上で可視化, 県民向けにも「総合地図提供システム」と連携し提供

公共情報コモンズ



事業⑤
公共情報コモンズへの参加促進を図り, ①～③により集約された情報を, 住民の位置・場所に応じ適切に伝達

各種主題図(面、線、点情報)
ハザードマップ
航空写真
各種背景図

事業①
徳島県が運用する安否確認サービス「すだちくんメール」を地域SNS化, 住民からの被災情報等収集体制を構築

事業②
豪雨・洪水災害を予測するため, 「雨雲レーダー」をはじめ降雨・水位データを収集し, 分析体制を構築

事業③
「薬剤出荷実績」データを活用した薬剤ニーズや, ネット通販大手アマゾンと連携した避難所ニーズの把握体制を構築

防災部門だけでなく医療部門も統合した全国最先端の災害情報共有基盤を活用!

○南海トラフ巨大地震を迎え撃つ「戦略的な災害医療体制」の構築に着手, 当事業をその中枢に位置づけ

○孤立化が予想される山間部や過疎地等における豪雨, 洪水の迅速把握及び情報伝達を実証

○計画的に整備してきた既存資源を当事業により磨きをかけ, 先駆的モデル・ルールを策定のうえ全国に発信